

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

PETHEMA LPA2005

寛解導入療法

IDR[12mg/m²/日(day2,4,6,8)] + ATRA 療法

疾患 急性前骨髄球性白血病

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

《注射》		day2	day4	day6	day8
イダマイシン(イダルビシン)	12 mg/m ²	↓	↓	↓	↓
《内服》	day1				
ベサノイド(トレチノイン)	45 mg/m ²	↓		

- 【注意】 * 1日の尿量が2000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
* APL分化症候群の予防、吐気予防のため、デキサメタゾンの投与を検討する。
* 腫瘍崩壊症候群予防のため、キサンチンオキシダーゼ阻害薬あるいはラスブリカーゼの投与を考慮する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 2, 4, 6, 8

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
 - ② グラニセトロン注 3 mg 1筒 側管静注
- ☆30分後
- ③ イダマイシン + 注射用水 適量 + 生食 100 mL 点滴静注 30分(200 mL/時間)

*イダマイシンは1バイアル(5 mg)を5 mLの注射用水で溶解後、生食 100 mL に混入

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 1~

ベサノイド 内服

PETHEMA LPA2005 寛解導入療法
IDR[12mg/m²/日(day2,4,6,8)]+ATRA 療法

	day 2	day 4	day 6	day 8
月日	/	/	/	/
イダマイシン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				